



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社マキヤ

上場取引所 東

コード番号 9890 URL <https://www.makiya-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 早川 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 竹島 剛 TEL 0545-36-1000

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	70,705	5.4	1,704	△5.9	1,793	△5.5	1,120	△10.6
2025年3月期第3四半期	67,051	15.2	1,810	△0.1	1,897	△1.3	1,253	△4.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,379百万円 (11.1%) 2025年3月期第3四半期 1,241百万円 (△16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	112.05	-
2025年3月期第3四半期	125.47	-

(注) 2026年3月期第3四半期連結累計期間より、経営成績の売上高を営業収益に変更しております。営業収益は売上高及び営業収入の合計であり、2025年3月期第3四半期連結累計期間も同様に変更しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	42,163	21,911	52.0	2,190.08
2025年3月期	39,827	20,795	52.2	2,080.90

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 21,911百万円 2025年3月期 20,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	12.50	-	12.50	25.00
2026年3月期	-	15.00	-		
2026年3月期（予想）				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,427	5.6	2,330	2.8	2,420	2.3	1,520	1.5	152.10

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 2026年3月期より連結業績予想の売上高を営業収益に変更しております。営業収益は売上高及び営業収入の合計であります。なお、売上高及び営業収入を含めた連結業績予想の各数値について、2025年5月13日の公表数値から変更はありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	10,540,200株	2025年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	535,193株	2025年3月期	546,793株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	10,000,113株	2025年3月期3Q	9,989,152株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、金融政策正常化に伴う金利上昇の影響や、米国新政権の通商政策に関する不確実性、地政学リスクの長期化等の景気の下振れリスクから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当小売業界におきましては、地方で深刻化する「少子高齢化と人口減少」、社会保障費負担等の増加や賃金の上昇を超える物価高による「可処分所得の減少」、競合店の出店やeコマースの拡大等による「価格競争の激化」、原料供給側に起因するコストプッシュ型のインフレによる「消費者マインドの低下」等、引き続き厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、経営理念である『お客様の「毎日の生活」を、より豊かに、楽しく、健康で、快適にする、「より良い商品」を、「安心の価格（価値価格の安さ）」と「温かいサービス」でご提供し、社会に貢献する、「働き易い、高収益企業」になる！』の実現を目指し、「品揃え」「品質」「価格」「売り方」「サービス」「マネジメント」のさらなる磨き上げに注力しております。

また、2025年3月期～2027年3月期中期経営取組施策である「収益性の拡大（売上高の拡大（1,000億円）、経常利益率の改善）」、「資本効率の向上（ROE（自己資本利益率）の改善策）」、「株主還元の実現（配当性向25%以上・DOE（自己資本配当率）の改善策）」の達成に向けた各課題と対策につきましては次のとおりです。

「収益性の拡大」策としましては、エブリデイロープライスの徹底による売上の最大化を図るとともに、子会社のEC事業（ネットモール）との間で「売れ筋」商品の共同開拓や共同仕入、共同販売を推進しております。また、売場における「品切れ」の撲滅と「値引き・廃棄ロス」の削減にも注力し、商品鮮度管理を徹底した結果、「値引き・廃棄ロス率」は前年同期比で約2%改善しております。加えて、成長戦略の一環である「ダイソー部門」の拡大におきましては、当第3四半期連結累計期間にエスポット併設店を2店舗新規出店したことにより全12店舗となり、売上拡大に寄与しております。

「人材投資・働き方改革」としましては、店舗作業の“ムダ”を無くす「作業改善」を通じて『人時生産性（荒利額÷労働時間）』を改善し、これを原資とした「賃金」の向上を図れるように取り組んでおります。

CSR活動の一環の環境問題への取り組みとしましては、当第3四半期連結累計期間に「太陽光パネル」を新たに5店舗に設置し、これにより太陽光パネルの設置店舗数が全16店舗となったほか、空調最適化省エネソリューションの導入を順次進めております。当社グループは引き続き再生可能エネルギーの活用と消費エネルギーの低減等によりSDGsへの貢献に注力してまいります。

さらに、2025年10月1日付で本店所在地を静岡県沼津市から静岡県富士市に移転したこと契機に、地域との新たなつながりを築く第一歩として、2025年11月9日に「F U J I - マキヤ感謝フェスタ」を初開催いたしました。当日は雨天ながら1,000名を超えるお客様にご来場いただき、青果直売やクイズ大会、防災体験、地元アーティストの公演など、自社の特色を活かした多彩な催しを通じて地域の皆様との結びつきを深めることができました。当社グループは、今後も地域のお客様への感謝を形にする取り組みを継続し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

なお、当第3四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
開 店	業務スーパー浜北店 (静岡県浜松市浜名区)	2025年10月	新規開店
改 装	エスポット沼津駅北店 (静岡県沼津市)	2025年12月	売場最新化、ダイソーの導入
改 装	エスポット小田原シティモール店 (神奈川県小田原市)	2025年12月	売場最新化

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は70,705百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は1,704百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益は1,793百万円（前年同期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,120百万円（前年同期比10.6%減）と増収減益となりました。

なお、各四半期別の営業収益の状況は以下のとおりであります。

四半期	営業収益	前年同期比
第1四半期	23,007百万円	8.9%増
第2四半期	22,845百万円	2.1%増（注）
第3四半期	24,851百万円	5.5%増

（注）前年第2四半期に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発表による、防災関連商品の特需がありました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①小売業

営業収益は64,799百万円（前年同期比5.3%増）となりました。「フード（食品）」部門につきましては、「エスポット（フード）」、「ポテト・マミー」、「業務スーパー」の全ての業態で引き続き好調に推移し、生鮮食品、日配食品、加工食品はいずれも前年同期を上回り、前年同期比7.1%増となりました。「ノンフード（非食品）」部門につきましては、リユース事業が順調に推移したことや、「ダイソー」の新店の売上寄与があったものの、前年同期を下回り、前年同期比2.0%減となりました。

営業利益は2,002百万円（前年同期比4.2%減）と減益になりました。これは、賃上げによる人件費コストの増加や電気料金単価の上昇による水道光熱費の増加、賃借していた土地・建物の購入による公租公課等の発生があった事等に伴う販売費及び一般管理費の増加によるものであります。

②不動産賃貸事業

営業収益は308百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は116百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

③E C事業

営業収益は5,597百万円（前年同期比7.7%増）、のれん償却額算入後の営業損失は92百万円（前年同期は56百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は13,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ714百万円増加いたしました。これは、季節要因による売上高の増加により売掛金が590百万円、商品が210百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は28,542百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,621百万円増加いたしました。これは、のれんの償却等により無形固定資産が261百万円減少したものの、賃借していた土地・建物の購入や新規出店等により有形固定資産が1,983百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、42,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,335百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は14,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,386百万円増加いたしました。これは、季節要因による仕入高の増加により買掛金が1,155百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は6,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円減少いたしました。これは、固定負債のその他に含まれるリース債務が240百万円増加したものの、長期借入金405百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は20,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,219百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は21,911百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,116百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が845百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.0%（前連結会計年度末は52.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期より連結業績予想の売上高を営業収益に変更しております。営業収益は売上高及び営業収入の合計であります。

なお、2026年3月期における通期の業績予想の各数値につきましては、売上高及び営業収入を含めて、2025年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,455,840	4,381,784
売掛金	2,123,501	2,714,478
商品	5,908,054	6,118,631
その他	418,731	406,010
貸倒引当金	△199	△248
流動資産合計	12,905,928	13,620,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,651,293	10,552,232
土地	8,145,493	9,176,690
その他(純額)	1,503,097	1,554,606
有形固定資産合計	19,299,884	21,283,530
無形固定資産		
のれん	1,566,574	1,419,707
その他	732,993	618,718
無形固定資産合計	2,299,567	2,038,426
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,141,475	2,692,949
その他	2,181,529	2,527,571
貸倒引当金	△1,000	—
投資その他の資産合計	5,322,005	5,220,520
固定資産合計	26,921,457	28,542,476
資産合計	39,827,386	42,163,133
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,832,495	7,987,625
短期借入金	1,985,811	1,925,274
未払法人税等	462,602	303,048
契約負債	824,645	822,815
賞与引当金	138,834	136,262
役員賞与引当金	5,190	5,276
その他	2,494,042	2,949,570
流動負債合計	12,743,622	14,129,872
固定負債		
長期借入金	3,007,388	2,602,278
退職給付に係る負債	580,435	581,859
資産除去債務	1,330,214	1,318,214
その他	1,370,387	1,619,123
固定負債合計	6,288,426	6,121,475
負債合計	19,032,049	20,251,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,086,263	1,088,937
利益剰余金	18,146,729	18,992,327
自己株式	△438,263	△428,966
株主資本合計	19,993,038	20,850,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	697,034	976,053
退職給付に係る調整累計額	105,263	85,123
その他の包括利益累計額合計	802,297	1,061,176
純資産合計	20,795,336	21,911,785
負債純資産合計	39,827,386	42,163,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	66,581,348	70,232,034
売上原価	50,671,402	53,934,882
売上総利益	15,909,946	16,297,152
営業収入		
不動産賃貸収入	470,210	473,060
営業総利益	16,380,156	16,770,212
販売費及び一般管理費	14,569,407	15,065,727
営業利益	1,810,749	1,704,485
営業外収益		
受取利息	92	1,111
受取配当金	24,362	35,228
受取手数料	50,674	50,318
リサイクル収入	35,722	35,927
その他	36,882	40,213
営業外収益合計	147,733	162,799
営業外費用		
支払利息	28,347	37,025
支払保証料	—	887
株主優待費用	17,333	18,373
その他	15,046	17,677
営業外費用合計	60,728	73,964
経常利益	1,897,754	1,793,320
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	24,720
特別利益合計	—	24,720
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	100,080
特別損失合計	—	100,080
税金等調整前四半期純利益	1,897,754	1,717,960
法人税、住民税及び事業税	591,609	661,693
法人税等調整額	52,741	△64,324
法人税等合計	644,350	597,369
四半期純利益	1,253,403	1,120,591
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,253,403	1,120,591

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,253,403	1,120,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,769	279,019
退職給付に係る調整額	△9,226	△20,140
その他の包括利益合計	△11,996	258,878
四半期包括利益	1,241,407	1,379,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,241,407	1,379,470
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	小売業	不動産 賃貸事業	EC事業	計		
営業収益(注) 1						
物品販売(フード)	49,145,489	—	—	49,145,489	—	49,145,489
物品販売(ノンフード)	12,239,602	—	—	12,239,602	—	12,239,602
物品販売(EC事業)	—	—	5,196,256	5,196,256	—	5,196,256
不動産賃貸等	162,967	307,242	—	470,210	—	470,210
計	61,548,059	307,242	5,196,256	67,051,559	—	67,051,559
顧客との契約から生じる 収益	61,385,092	—	5,196,256	66,581,348	—	66,581,348
その他の収益	162,967	307,242	—	470,210	—	470,210
外部顧客への営業収益	61,548,059	307,242	5,196,256	67,051,559	—	67,051,559
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	61,548,059	307,242	5,196,256	67,051,559	—	67,051,559
セグメント利益又は損失 (△)	2,091,632	112,018	△56,518	2,147,132	△336,382	1,810,749

(注) 1. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計金額であります。なお、四半期連結損益計算書の不動産賃貸収入のうち、当社店舗の敷地内で営業するテナント等の収入については、「小売業」セグメントに含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△336,382千円は、その全額が全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	小売業	不動産 賃貸事業	EC事業	計		
営業収益(注) 1						
物品販売(フード)	52,636,284	—	—	52,636,284	—	52,636,284
物品販売(ノンフード)	11,997,914	—	—	11,997,914	—	11,997,914
物品販売(EC事業)	—	—	5,597,835	5,597,835	—	5,597,835
不動産賃貸等	165,031	308,029	—	473,060	—	473,060
計	64,799,230	308,029	5,597,835	70,705,095	—	70,705,095
顧客との契約から生じる 収益	64,634,199	—	5,597,835	70,232,034	—	70,232,034
その他の収益	165,031	308,029	—	473,060	—	473,060
外部顧客への営業収益	64,799,230	308,029	5,597,835	70,705,095	—	70,705,095
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	64,799,230	308,029	5,597,835	70,705,095	—	70,705,095
セグメント利益又は損失 (△)	2,002,771	116,967	△92,532	2,027,206	△322,721	1,704,485

(注) 1. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計金額であります。なお、四半期連結損益計算書の不動産賃貸収入のうち、当社店舗の敷地内で営業するテナント等の収入については、「小売業」セグメントに含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△322,721千円は、その全額が全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,065,209千円	1,163,852千円
のれんの償却費	146,866千円	146,866千円